

# とやまDXパートナー制度の運用開始について



## ＜制度創設の背景・目的＞

- ・県内企業においては、デジタル化・DXの必要性は認識しつつも、「何から始めてよいか分からない」「相談先が分からない」といった声が多い
- ・IT関連サービスへのニーズは存在する一方で、県内企業とサービス提供事業者がつながりにくいといった課題がある



DXに関する助言や解決策の提案が可能な事業者を「とやまDXパートナー」として登録・公表することで、県内企業が自社の課題に応じた適切な支援者を選ぶことができる環境を整備

パートナーと連携しながら、計画策定から実行・定着までを伴走支援する体制を強化し、県内企業のデジタル化・DXの実効性を高める

# とやまDXパートナー制度の運用開始について



## ＜とやまDXパートナーの登録対象者＞

ITベンダー、コンサル、機械メーカーなど

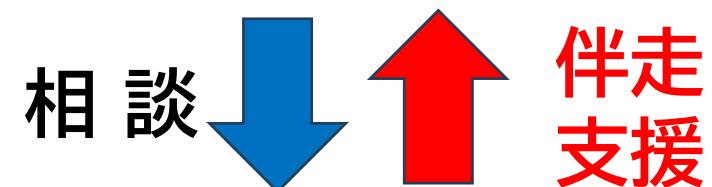
(県内・県外を問わず、DXの助言・提案が可能な企業を幅広く募集)

## ＜とやまDXパートナーの役割＞

- ・企業の課題整理、解決策の提案、計画策定支援
- ・補助金活用も含む実行支援、定着支援
- ・県内におけるDXの好事例の横展開

とやまDXパートナーの知見・経験を  
県内企業のDXにつなげていく

DXに取り組む  
県内企業



とやまDX  
パートナー

# とやまDXパートナー制度の運用開始について



## <登録・運営主体>

とやまDXコンソーシアム（事務局：経営支援課）

## <支援機関>

富山県新世紀産業機構「デジタル化相談窓口」

## <登録状況（2/3現在）>

58社 ※1/16（金）第1次〆切分まで

・・・登録事業者リストは別添のとおり

⇒ 本日よりコンソーシアムのウェブサイトで公開し、制度の運用開始  
(今後も随時申請を受け付け、リストに追加登録)

# とやまDXパートナー制度の運用開始について

## 中小企業トランسفォーメーション補助金

第3次募集：2月27日（金）～7月31日（金）

※本日交付要綱等公表

募集枠	内容	補助率		補助額	
		中小	小規模	上限	下限
①省力化・省人化モデル枠【新設】	人手不足に対応するための省力化・省人化に関する複合的な取組み（単なるツールの導入だけではなく、企業全体として戦略を定めて取り組むもの）	2/3	3/4	1,000万円	200万円
②DX枠	デジタル技術を活用した生産プロセス等の改善	1/2	2/3	500万円	100万円
AI導入枠【新設】	AI導入による先進的な取組み	2/3	3/4		
③GX枠	温室効果ガスの排出削減に資する業務プロセスの改善	1/2	2/3		

原則、「とやまDXパートナー」と協力して申請することを要件化

⇒ 補助金活用にあたり、専門的な助言・提案を得ることで取組みの実効性を向上

担当：経営支援課